

Ⅲ 多様な見方で自分を活かす進路を考えさせる進路指導・キャリア教育の実践例

中学生の時期は、自分の将来における生き方や進路を模索し始めます。同時に、様々な人々の生き方にも触れて、いかに生きるべきかについても考え始めるようになります。しかし、生徒は進路に関する経験や情報を十分にもっていません。学級活動等を通じて将来の生き方や働き方についてしっかり考えさせるとともに、進路通信やホームページ等から情報を収集させ、自分の意思と責任で自分を活かす進路を選択・決定へと導くことが重要です。

1 各学年での学級活動の事例

進路指導の中核的な実践の場面となっているのが、特別活動における「学級活動」です。

特に、活動内容(3)「学業と進路」では、生徒が、自己の将来に夢や希望を抱き、意欲的かつ主体的に学習に取り組むとともに、将来の生き方や進路に関する体験を得たり、情報の活用を図ったりしながら、自己の個性や学習の成果を活かす進路を自らの意志と責任で考え、選択していけるように題材を工夫することが求められています。

例えば、1年生では、将来の職業生活との関連の中で今の学習の必要性や大切さを理解しようとすることや、学習の過程を振り返り、次の選択場面に活かそうとすること。2年生では、様々な体験等を通して勤労の意義や働く人々の様々な思いがわかることや、よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見いだしていくことの大切さを理解すること。3年生では、係・委員会活動や職場体験活動等で得たことを以後の学習や選択に活かそうとすることや、新たな課題に積極的に取り組み主体的に解決していこうとすること。それぞれの学年で取り上げる内容は、学年の段階やその系統性を踏まえ、関連・統合を図る必要があります。

第1学年

(1)実践例1

- ◇ 題 材 名 自分を知ろう（「〇〇さんへの手紙」）
- ◇ ね ら い 進路指導における自己理解の導入として、「個性」について理解を深め、集団における相互の理解を図る。また、自分の個性を将来の進路選択（職業選択）に活かしていこうとする態度を養う。
- ◇ キャリア教育の視点と能力
 - ・ 仲間のよさを理解し、尊重する。 【人間関係形成・社会形成能力】
 - ・ よりよい集団活動のための自分の役割を理解する。 【人間関係形成・社会形成能力】
 - ・ 自分のよさや個性がわかる。 【自己理解・自己管理能力】
- ◇ 学習の概要
 - ・ 事前に「〇〇さんへの手紙」を複数枚記入させ、仲間のよい面を見出させる。
 - ・ 自分の長所や短所、興味をもっているもの、将来の夢をまとめる。
 - ・ 自分宛の手紙を読んで、自分の特徴について新たに発見したこと、また感想をまとめる。
 - ・ 感想を発表し合い、自己目標を設定する。
- ◇ 資 料 資料1、2（P.13）

(2) 実践例 2

- ◇ 題 材 名 将来の夢と中学校生活を考えよう
- ◇ ね ら い 自分の夢とそれを実現する方法を考えさせることを通して、今、何ができるかを考え、望ましい中学校生活を送ろうとする態度を養う。
- ◇ キャリア教育の視点と能力
 - ・ 将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。
【自己理解・自己管理能力】
 - ・ 日常の生活や学習と将来の生き方との関連を理解する。
【自己理解・自己管理能力】
 - ・ 進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。
【キャリアプランニング能力】
- ◇ 学習の概要
 - ・ 将来の夢をあげ、それを実現するには中学校卒業後どのような進路を進めばよいのか班の中で話し合う。
 - ・ すべての人が、将来的には、職業生活を送ることに気付き、働くことの意義を考える。
 - ・ 夢を実現するには、どのような中学校生活を送ればよいのかを考え、これからの中学校生活をデザインする。
- ◇ 資 料 資料 3 (P. 14)

第 2 学年

(3) 実践例 3

- ◇ 題 材 名 友達の「職場体験学習」から学ぼう
- ◇ ね ら い 職場体験学習で自分だけでなく友達が体験した職業から、自分の将来を考え、目指す職業についての理解や関心を深める。
- ◇ キャリア教育の視点と能力
 - ・ 職場体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いがわかる。
【人間関係形成・社会形成能力】
 - ・ 職業体験等で得たことを、以後の学習や進路選択に活かす。
【キャリアプランニング能力】
 - ・ 様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。
【キャリアプランニング能力】
- ◇ 学習の概要
 - ・ 職場体験学習での報告会を開き、お互いが体験したことについて発表を行う。
 - ・ 友達の発表を聞いて気付いたことやわかったことをメモする。さらに詳しく聞きたいこと等を質問する。
 - ・ 報告会を終えての感想を記入し発表する。
- ◇ 資 料 資料 4 (P. 15)

(4) 実践例 4

- ◇ 題 材 名 **高等学校選びの条件を考えよう**
- ◇ ね ら い 進学先の高等学校選択の条件を考えることにより、多様な見方から進路情報を収集していこうとする態度を養う。
- ◇ キャリア教育の視点と能力
 - ・進路に関する情報を様々なメディアや資料、高等学校への訪問などを通して調査・収集・整理し活用する。 【課題対応能力】
 - ・上級学校・学科等の種類や特徴の概要が分かる。 【キャリアプランニング能力】
 - ・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 【キャリアプランニング能力】
- ◇ 学習の概要 ・進学先の高等学校を選ぶ条件について各自優先したい項目を決める。
・班ごとに優先したい項目とその理由を出し合い、話し合う。
・話し合った内容や結果について班ごとに発表し合う。
・進路先を検討していくときの心構えや目標について考えをまとめる。
- ◇ 資 料 資料5 (P. 16)

第3学年

(5) 実践例 5

- ◇ 題 材 名 **高等学校選択について考えていこう**
- ◇ ね ら い これまでの進路情報の収集活動を振り返るとともに、具体的な進学先選択のために必要な条件を考え、進路相談に対する意欲をもつ。
- ◇ キャリア教育の視点
 - ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。 【課題対応能力】
 - ・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 【キャリアプランニング能力】
 - ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 【キャリアプランニング能力】
- ◇ 学習の概要 ・これまでに行った高等学校訪問等について振り返る。
・興味のある高等学校や進学したい高等学校について考えをまとめる。
・高等学校選びの条件等についてもう一度まとめる。
・実際の高等学校選択に向けて必要な情報について考えをまとめる。
- ◇ 資 料 資料6 (P. 17)

◇◇ 資料 ◇◇

資料 1

() さんへ

あなたは 数学 が (得意・上手) ですね。

あなたは 定期テストに向けて勉強 を頑張っていますね。

私は、あなたが 医者 に向いているかもしれないと思います。
(職業など)

あなたの友達より

複数枚記入させ、仲間のよさをたくさん発見させましょう。

資料 2

第1学年進路学習 学習日 7 月 | 日

自分を知ろう

みなさんは、一人一人がかけがえのない存在であり、それぞれが人にはない「よさ」を持っています。今日は自分の「よさ」に目を向けてみましょう。

1 自分を見つめてみましょう。

長所 誰とでも仲良くできる	短所 短
今、自分が興味を持っているもの 筋トレ	得意なこと 運動
将来の夢は スポーツ選手	

机間指導をしながら空欄がある生徒には声かけをしましょう。

2 友達から自分にあてた手紙 (〇〇さんへの手紙) を読んで貼りま

手紙の上の部分だけにのりをつけて、重ねて貼りま

自分宛の手紙をすべて見ることができるように貼り方を工夫しましょう。

↓

3 友達からの手紙を読んで、新たに発見した自分の良さや感想をまとめましょう。

自分の努力を認めてもらえて嬉しかったです。

今まで気付かなかった良さを知ることができました。

今回、色々な職業に向いていると言われたので、その職業について調べてみたいと思

将来の夢と中学校生活を考えよう

これまで、自分の個性や適性、将来の夢について考えてきました。今日はこれまでの学習で考えてきたことを整理し、将来の希望を実現していくために、何をしていたらよいか考えましょう。

1 将来の夢を確認しましょう。

私は将来、パイロットになりたいと思っています。

2 夢を実現するためには、中学卒業後どのような進路をとればよいか考えましょう。

自分の 考え	大学に進学して、色んな知識を身につけたい。	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;"> 班での話し合いは司会者を決めて全員が発表できるようにしましょう。 </div>
みんな の考え	特に英語を頑張ったほうがいいと思う。 色んな知識を身につけたほうがいいと思う。	

3 夢を実現するためには、これからどのような生活を送ればよいか考えましょう。

昔年英語を頑張ろうと思いました。

学級活動(2)、(3)では、目標、解決方法等を自己決定させましょう。

4 これからの中学校生活をデザインしてみましょう。

	生 活	学 習	部活動
1 年	学校生活に慣れる。	定期テストを頑張る。	先輩方の関係や、環境に慣れる。
2 年	気の中身が正しい生活をおくる。	来年の受験を意識する。	新人戦でいい記録がたせよう努力する。
3 年	入試を意識し、身だしなみを整える。	入試に向けて計画を立てながら勉強する。	くいつ残らない結果をだし、気持ち良く引退する。

友達の「職場体験学習」から学ぼう

初めての社会体験、それぞれの職場でいろいろなことが学べたと思います。

友達の体験報告を聞くことで、さらに職業のことがわかるようになり、働くことに対して今までとはちがった見方ができるようになります。

レポートや新聞、当日の映像等を使いながら発表できるように事前の準備をしっかりさせましょう。

1 友達の発表を聞いて、気付いたことやわかったことをメモしておき

体験先	報告者	気付いたことやわかったこと
保育園	〇〇 さん	子供達の面倒や教育をしている姿とても大変だなと思いました。
消防署	◇◇ さん	人の命を守るという大切な仕事をかかっている毎日頑張っているのを感じました。
コンビニ	△△ さん	普段たくさん使うコンビニで何が、レジなど思っていた以上に大変でびっくりしました。

2 学習をふりかえりましょう (あてはまる記号に○を付けましょう)

A=よくできた B=だいたいよくできた C=あまりできなかった D=できなかった

- (1) 自分が体験したことや体験から学んだことを、わかりやすく伝えることができましたか。 A B C D
- (2) 友達の体験報告から、職業や生き方についての情報を積極的に収集することができましたか。 A B C D
- (3) 友達の体験報告から、職業や仕事の内容、仕事や生き方に対する考えについて理解することができましたか。 A B C D
- (4) 友達の体験報告から、自分が将来やってみたい職業や仕事への関心や意欲を持つことができましたか。 A B C D
- (5) 友達の体験報告から、職業や生き方に対する様々な価値観について興味・関心を持ち、自分の考えが広がりましたか。 A B C D

3 体験報告会を終えての感想を書いてみましょう。

どの職業も忙し忙しとしているので簡単に見えましたが、実際に体験すると、それは大変だなと改めて実感しました。
今持っている夢以外にも、自分が聞けなかったのが、良かったです。

高等学校選びの条件を考えよう

あなたが中学校卒業後の進路（進学先の高等学校など）を選択していくとき、どんな条件を優先して考えていくでしょうか、また、その条件を優先するのはどうしてでしょう。

自分が進路選択をせまられているときの、その条件の優先順位を考えてみましょう。

- 1 次の条件について、まず、自分なりに順位付けをしてみましょう。
- 2 班の人たちの意見を出し合ってその順位をあらためて見直してみましょう。

条 件	私の順位	班の順位	理 由
自分の学力にあっている	1	2	自分の学力に合っていると授業についていけるから。
通学に便利な場所にある	3	3	家から学校までかかって校風が良いから。
教育方針や校風が良い	8	1	校風が良いから。
学費があまりかからない	4	7	学費と交通費どちらも高いと親が大変だから。
大学への進学実績が良い	2	6	自分の将来につなげられるから。
就職に有利である（資格がとれる）	7	9	自分がやりたいことが実現しやすくなるから。
学校行事が盛んである	6	8	行事が多い方が学校生活を楽しくするから。
入りたい部活動がある	9	4	自分が好きな事と相手がやりたい事が同じだから友達も増える。
施設や設備が充実している	5	5	設備がしっかりしていると、親の心配も減るから。
その他			

グループ思考を深める話し合いが必要になります。小グループやパネルディスカッションを用いた話し合いを行うなど工夫しましょう。

- 3 進路先を検討していくときの心構えについて自分の考えをまとめておきましょう。

高校の特徴を詳しく知る事が一番大切なので、しっかり情報収集をしたいと思います。
高校に入っても勉強は大切なので、普段の授業を頑張っていきたいです。

第3学年進路学習

学習日 9月 9日

高等学校選択について考えていこう

自分自身の希望や適性について振り返ると同時に、できるだけ多くの高等学校についての情報を、様々な見方から収集しながら、保護者や先生、友だちなど多くの人たちと相談し合い、真剣に考え、じっくりと時間をかけて進路先の選択を進めていきましょう。また、その進路実現のために精一杯の努力を積み重ねていきましょう。

- 1 自分がこれまでに上級学校調査や学校説明会、体験入学等で訪問した高等学校を書きましよう。

高等学校名	学科	訪問しての感想
〇〇 高等学校	普通科	体育関係の設備が整った
◇◇ 高等学校	普通科	とても近くて通学が便利
△△ 高等学校	普通科	バスも使ったので登校が、少し大変だった。

学校の雰囲気や先輩の姿なども書かせたい。

- 2 自分の興味のある高等学校や進学してみたい高等学校をあげましよう。また、どうしてその高等学校をあげたのか理由を書きましよう。

高等学校名	学科	理由
公立 ●● 高等学校	普通科	伝統ある女子高校で、学ん
私立 □□ 高等学校	普通科	運動部が盛んだった。

三者面談の資料として使うこともできるので理由や抱負をしっかり書かせましよう。

- 3 高等学校選択の条件や参考になることなどをまとめておきましよう。

施設や設備が充実していたり、部活動が盛んな学校

- 4 進学する高等学校を選ぶために知っておいたほうがよいと思われることをまとめておきましよう。

- 学費がいくらぐらいかかるのか
 - 各部活の成績
 - どのような行事があるのか

- 5 授業を振り返って、高等学校選択に向けての抱負を書きましよう。

自分の志望校に向けて、普段の授業からしっかり学ぶ意識を持ち、
 学力アップを目指していきましよう。また、学力だけでなく部活動などの運動面
 でもしっかり成績を出せるよう努力していきましよう。

2 進路通信、学校だよりの事例

保護者の将来の生き方や働き方に対する考え方は、生徒の自分を活かす進路選択に大きな影響を与えます。そのため、保護者が進路選択の苦労話や働くことの大切さを語るなど、家庭における働きかけが極めて重要になります。中学校においては、家庭・保護者との共通理解を図るために「進路通信」や「学校だより」で多くの情報を提供することが必要です。

(1) 保護者ととともに進める進路指導

生徒が自己の個性の理解を深め、将来の社会生活・職業生活を通して自己の実現を目指し、自らの意志と責任で進路を選択することができるよう指導・援助するためには、保護者ととともに進路指導を進めなければなりません。体験活動の成果や進路に関する情報を一方的に発信するだけでなく、保護者の声を聞く場面などを設け、それを紹介するなどその過程を通して保護者の理解を得ていくことが大切です。

(2) 進路についての情報共有

進路に関する情報については、卒業生の進路状況、上級学校の種類や内容等だけでなく、進路指導の目標と計画、学習内容など幅広い情報を発信し、保護者と情報を共有することが大切です。また、「進路通信」は3年生に向けた内容が多くなりますが、1、2年生にも計画的に配布し、1、2年後に迫る進路決定について早めに意識させたいです。

(3) 地域活用や生き方指導

価値観が多様化した社会にあって、生徒は自らの生き方、進路を見いだすことが難しい状況にあります。こうした生徒が、保護者や地域の社会人と接する中で将来への見通しをもつことが望まれます。

地域には、生徒が生き方や進路を考える上で、知って見て触れてほしい、人々の生き方・産業施設・自然や文化などがあります。地域での活動報告や新聞記事を利用するなど生き方指導としての視点も大切です。

3 年生向け進路通信 年間計画例

月	内 容	月	内 容
4月	・進路指導年間計画 ・卒業生の進路状況	11月	・第2回三者面談に向けて ・就職に向けての取組について
5月	・県公立・私立高校、専門学校等の説明 ・第1回進路説明会保護者会について	12月	・第2回進路希望調査について ・「成績及び諸活動等の記録通知書」
6月	・高校説明会・体験入学の案内 ・体験入学等における注意事項	1月	・入試に関する今後の全体的な流れ ・入試に際しての心構え ・私立高校入試について
7月	・高校説明会・体験入学の申込み ・第1回三者面談に向けて	2月	・公立高校入試について ・諸手続について ・入試当日の最終確認について
9月	・2学期の進路指導について ・第1回進路希望調査について	3月	・入試結果のまとめ ・今後の学校生活について ・欠員補充等について
10月	・第2回進路説明会保護者会について ・「卒業生と語る会」について		

〇〇市立△△中学校	<h1>進路通信</h1>	〇〇年9月11日
第3学年		10号

進路決定の2学期!

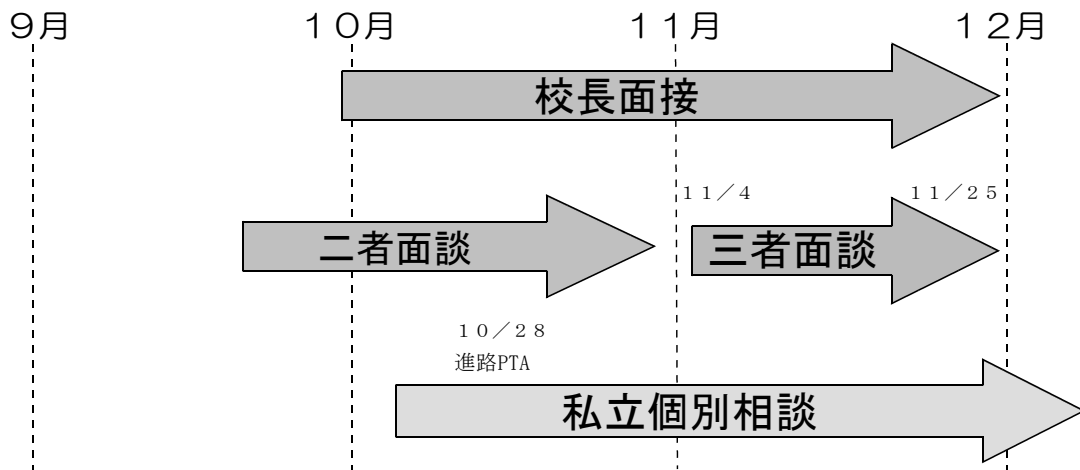
2学期が始まって2週間になりますが、生活のリズムは取り戻したでしょうか。体育祭の準備や練習にあけくれたスタートでしたが、今学期はみなさんにとって、とても大事な学期になります。

夏休み中にほとんどの人が、学校説明会や体験入学等に参加したと思います。

いくつもある選択肢の中から自分の進む道を決める、志望校を決定することは簡単ではありません。自分が実際に目で見て、耳で聞いて確かめてきたことをもとに、様々な角度から検討し、それぞれの進む道を見つけましょう。まだまだ文化祭や説明会、体験入学なども実施されていますので、自分の気持ちが決まるまで実際に足を運んで情報を集めましょう。

行事が一段落する11月には、三者面談があります。今学期は保護者の方と進路について話をする時間をこまめにとっていきましょう。

～2学期の流れ～



10月から校長面接が始まります。受験モード第一弾になります。「試験に面接ないから関係ない」ではないのです。受験をするという心構えを全員が学ぶのです。もちろん面接試験がある人は本番のつもりで準備をしてください。面接での評価ポイントは、①身だしなみ②態度③内容です。事前に面接整理カードを記入してもらいます。120%の準備が、自信のある受け答えにつながります。がんばりましょう!

見通しをもって受験の準備を！

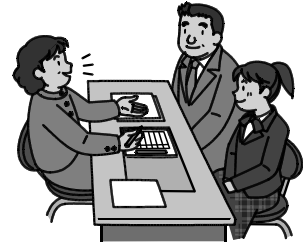
卒業まであと半年。進路決定に向けて、着々と準備を進めましょう！

「今、そしてこれから自分は何をすべきなのか？」という見通しをもちましょう。

10月 私立高校の個別相談会 ～12月中旬頃まで

ほとんどの私立高校が、土日に個別相談会を実施します。併願・単願にかかわらず、多くの私立高校では、合格の可能性について説明していただけます。事前に予約が必要な場合がありますので、パンフレットや掲示物で確認してください。

個別相談会では、中学校での学習の成績や資格を証明するものなどが必要な場合があります。日程だけでなく持ち物も確認し、相談会に参加しましょう。



高校見学・体験入学への参加

上記の個別相談会と同様に、説明会や体験入学を行っている学校があります。

将来の夢や希望を実現できる高校、自分に向いている高校を絞り込みましょう。公立高校も12月くらいまでは、体験入学を実施しています。詳しくは、配布資料やパンフレット、HP等で調べましょう。

第2回 定期テスト(10/23)は進路を決める上で重要なテストです。

11月 第2回三者面談(11/4~11/25)

私立高校の相談会への参加状況やその内容を確認します。相談が終わっている場合は、受験校名の確認を行います。公立高校についても、実力テストや通知表の結果などを参考に、検討していきます。

第3回 定期テスト(11/25、26)は進路を決める上で重要なテストです。

12月 私立高校の入試準備

年明けすぐに始まる私立入試の出願に備え、願書を取り寄せ、下書きや清書、受験料の振込などを行い、万全の準備を整えます。

(県外の私立高校を受験する場合は早めに願書を取り寄せ、出願準備をお願いします。)



通知書の配布

冬休み直前には、調査書の内容も決まり、成績及び諸活動等の記録通知書が全員に配布されます。

◇◇ 学校だより例 ◇◇

〇〇市立△△中学校・学校だより 第15号

ふ

磨け知性!

た

心豊かに

ば

たくましく

校 訓

自主・創造・敬愛

平成〇年9月1日発行

活気ある2学期に!

今年の夏は、災害の多い夏だったように思います。土砂災害が連日報道され、災害のすごさを感じました。そして、災害のために大変な苦勞をされている地域の一日も早い復興を願うばかりです。

さて、2学期も本日から始まりました。2学期は、1年の中でも最も長い期間があり、体育祭や校内音楽会等多くの学校行事が計画されている学期です。そして、それらの行事を通して、一人一人の生徒の成長を促すことができる学期ととらえています。しっかりと行事に取り組み、また、一回り大きくなることのできた期間としたいと思います。今後、夏から秋へ、季節的にも過ごしやすい時期となります。学力を高めるために、勉強にしっかり取り組める時期と考えます。特に3年生にとっては、進路を確実に決定していく期間でもあります。この2学期の学習が、進路決定に大きく影響することは間違いありません。それだけに、学校全体で授業の充実を図り、一人一人の学力を高めたいと考えています。

9月1日・本日スタートした2学期、「心新たに」出発したいと思います。生徒たちの意欲を大切に、一日一日を充実させたいと考えます。また、保護者の皆様には多大なるご協力をいただくことになるかと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

第1学年・職場体験学習

夏休み中8月4日～6日の3日間、1年生全員が社会体験チャレンジ3Daysに取り組みました。市内の30を越える事業所に、数人ずつ別れ、実際に職場体験を積みました。

生徒たちにとっては、実際に職場に入って仕事することは貴重な体験になりました。それぞれの仕事がどのような思いで、どんなことを大切にしているのか、専門的な技能は何が必要なのか、同じ職場の人との人間関係をどうつくっていくのか、経験を通して学ぶことができたと思ひます。

各事業所からは「あいさつがしっかりできた」「仕事に一生懸命取り組んでくれた」等、しっかりと取り組んでいた様子が報告されています。

誰もが、将来様々な職業に就き、社会人の一人として社会に貢献していきます。将来の自分の姿を想像し、また夢を抱いて、未来を考えてくれることを期待します。この3日間の経験を2学期からの学校生活で活かしてほしいと思ひます。



3 ホームページの事例

学校が情報を発信する手段としては、学校だより、進路通信といった印刷物や保護者説明会などが中心でしたが、最近では多くの中学校でホームページを開設していて、年々その役割は大きくなっています。

学校だよりや進路通信をネット上で公開することにより、閲覧者が見たいときに情報を取り出すことができるという利点があります。また、タイムリーな情報発信が可能となります。しかし、人権への配慮、生徒のプライバシーの保護、知的所有権（著作権や肖像権など）の遵守など気を付けて作成しなければなりません。各市町村によってはホームページ作成のためのガイドラインなどがありますので、確認することが必要です。

埼玉県教育委員会のホームページにも公立高等学校入学者選抜情報に関するページがあり、(<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyuushi.html> 平成28年3月現在)リンクを貼ることが可能です。